

県農協利用者年金友の会
グラウンドゴルフ大会

「11月9日」鹿児島ふれあいスポーツランドにおいて、第21回鹿児島県農協利用者年金友の会グラウンドゴルフ大会が開催されました。

県内から60チーム、約300名の会員が集まった今大会には、JA種子屋久から南種子支部の上野Bチーム、中種子支部の上方チームが参加しました。2チームとも大健闘しましたが、惜しくも入賞とはなりませんでしたが、他の地区の会員との親睦も図られ、充実した大会となりました。



→上野Bチーム



←上方チーム

安心・安全を目指して
南種子町水稻部会総代会



▲総代会の様子

「11月9日」南種子町桂荘において、第15回南種子町水稻部会総代会が開催されました。浦門会長は、「米をめぐる情勢は大変厳しい環境が続いているが、安心・安全でおいしい米づくりを部会員・関係機関一丸となって頑張っていきたいと思います。」と挨拶されました。また、今年度は役員改選が行われ、岩坪和徳さんが会長に選任されました。

九州地区JA助けあい組織
実践交流集会

「11月21～22日」九州地区JA助けあい組織実践交流集会が行われ、九州各県より115名が集まり、JA種子屋久・助けあい組織「助さん部会」の会員5名が参加しました。

「JAグループ創造的自己改革と助けあい組織・活動のさらなる発展のために」と題した講演や、事例発表・グループに分かれての意見交換会が行われ、各地区との交流も図られました。



▲グループに分かれての意見交換会

県茶生産協会
地区別検討会



▲検討会の様子

「11月15日」熊毛支庁において、鹿児島県茶生産協会による地区別検討会が開催されました。県茶生産協会の領家副会長より「かごしま茶は、温暖な気候を活かして、走り新茶の産地として、今後も全会員が協力をし、品質・量ともに日本一の産地を目指していきたいでしょう」と挨拶がありました。平成29年度茶業経営向上活動事業の進捗状況報告の中で、かごしま茶の消費拡大を重点事項とし、鹿児島県茶業経営の発展のために多種多様な取り組みを行っていることが報告されました。

